

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 岩塚製菓株式会社

コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷 芳夫

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

TEL 0258-92-4111

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,577	△9.5	△173	—	624	28.5	186	△34.4
21年3月期第1四半期	5,057	—	△130	—	486	—	283	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	32.23	—
21年3月期第1四半期	50.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	47,511	28,525	60.0	4,933.86
21年3月期	40,619	25,187	61.9	4,355.97

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 28,500百万円 21年3月期 25,162百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,900	△0.1	50	—	850	256.7	450	△45.2	77.90
通期	20,600	3.6	530	—	1,330	154.8	710	△19.1	122.91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	5,995,000株	21年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	218,509株	21年3月期	218,449株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	5,776,527株	21年3月期第1四半期	5,626,611株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月20日発表の通期連結業績予想は、修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済環境は、リーマン・ショック以降の世界的な金融経済危機による景気後退は一部に回復の兆しも見え始めたものの、企業の厳しい収益状況は、設備投資を大幅に縮小させ、個人の所得環境にも影響を及ぼし、個人消費を弱める要因となっております。

米菓業界では、上位企業によるシェア争いを背景とした、価格競争が行われる等、極めて市場変化の激しい経営環境となりました。

このような経営環境におきまして、当社グループはプロジェクトVを発足させ、製造ラインや商品の見直しによるコスト低減と、品質にこだわりながらも買いやすさや値頃感のある商品市場への積極的な参入によるシェア拡大を目指してまいりました。その一環として新たに発売した「厚焼き海苔しょうゆ」「海老揚げ」は、順調に売上を伸ばしております。

また、デモンストレーション機「揚げたてちゃん」による販売促進活動を全国で展開し、品質・鮮度のアピールにも取り組んでまいりました。

しかしながら、激化する価格競争の中で主力製品の売上げが伸び悩み、当第1四半期につきましては、売上高45億77百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

利益面につきましては、営業損失は1億73百万円（前年同四半期は1億30百万円の営業損失）、経常利益は6億24百万円（前年同四半期比28.5%増）、四半期純利益は1億86百万円（前年同四半期比34.4%減）となりました。

なお、経常利益につきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited. からの株式配当金7億77百万円を営業外収益の受取配当金で計上しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は475億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して68億91百万円の増加となりました。

流動資産は54億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億48百万円の増加となりました。これは主に、短期貸付金が増加したこと等によるものであります。固定資産は420億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して53億42百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したこと等によるものであります。

当第1四半期末における負債合計は、189億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して35億53百万円の増加となりました。

流動負債は、65億85百万円で前連結会計年度末と比較して12億34百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金及び未払法人税等が増加したこと等によるものであります。固定負債は123億99百万円となり前連結会計年度末と比較して23億18百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、285億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億38百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は6億26百万円（前年同四半期比5.4%減）となり、前連結会計年度末と比較して35百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は9億67百万円（前年同四半期は9億49百万円の支出）の収入となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益6億12百万円を反映したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は12億円（前年同四半期は1億50百万円の使用）の使用となりました。主な要因は、貸付けによる支出等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3億9百万円（前年同四半期は10億78百万円の獲得）の獲得となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額3億80百万円を反映したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、第2四半期におきましても値頃感のある新商品を発売し、市場シェア拡大を進めるため平成21年5月20日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	631,340	551,445
受取手形及び売掛金	2,754,105	2,646,715
有価証券	—	8,020
商品及び製品	58,335	62,173
仕掛品	66,678	62,992
原材料及び貯蔵品	221,479	166,203
その他	1,724,096	408,064
貸倒引当金	△21,050	△19,337
流動資産合計	5,434,986	3,886,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,721,141	4,788,240
その他（純額）	2,389,940	2,369,221
有形固定資産合計	7,111,082	7,157,462
無形固定資産	60,808	61,388
投資その他の資産		
投資有価証券	34,707,527	29,316,369
その他	204,093	205,241
貸倒引当金	△7,446	△7,379
投資その他の資産合計	34,904,174	29,514,231
固定資産合計	42,076,065	36,733,082
資産合計	47,511,052	40,619,360
負債の部		
流動負債		
買掛金	564,681	529,215
短期借入金	3,400,000	3,020,000
未払法人税等	339,831	36,336
賞与引当金	192,129	444,671
その他	2,089,021	1,320,821
流動負債合計	6,585,663	5,351,044
固定負債		
退職給付引当金	860,409	874,038
役員退職慰労引当金	102,856	103,899
繰延税金負債	11,256,937	8,938,966
その他	179,211	163,807
固定負債合計	12,399,414	10,080,710
負債合計	18,985,078	15,431,755

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	5,933,356	5,822,273
自己株式	△365,379	△365,284
株主資本合計	9,061,976	8,950,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,451,824	16,234,358
為替換算調整勘定	△13,413	△22,888
評価・換算差額等合計	19,438,410	16,211,469
少数株主持分	25,586	25,147
純資産合計	28,525,974	25,187,605
負債純資産合計	47,511,052	40,619,360

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,057,973	4,577,892
売上原価	3,365,995	3,087,275
売上総利益	1,691,977	1,490,617
販売費及び一般管理費	1,822,257	1,663,655
営業損失(△)	△130,279	△173,038
営業外収益		
受取利息	370	3,901
受取配当金	625,175	787,828
その他	20,599	20,358
営業外収益合計	646,145	812,088
営業外費用		
支払利息	17,045	9,017
持分法による投資損失	5,178	1,966
その他	7,357	3,192
営業外費用合計	29,582	14,175
経常利益	486,283	624,874
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,674	—
その他	17	25
特別利益合計	5,692	25
特別損失		
投資有価証券評価損	977	12,563
その他	78	15
特別損失合計	1,055	12,578
税金等調整前四半期純利益	490,919	612,320
法人税、住民税及び事業税	203,740	393,061
法人税等調整額	4,460	34,582
法人税等合計	208,201	427,643
少数株主損失(△)	△1,109	△1,500
四半期純利益	283,828	186,177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	490,919	612,320
減価償却費	183,240	169,585
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,879	1,780
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△220,746	△252,541
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,200	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,645	△13,628
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,900	△1,043
投資有価証券評価損益 (△は益)	977	12,563
受取利息及び受取配当金	△625,545	△791,729
支払利息	17,045	9,017
持分法による投資損益 (△は益)	5,178	1,966
売上債権の増減額 (△は増加)	24,358	△112,414
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,401	△52,305
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,814	35,919
その他	298,536	654,309
小計	162,219	273,798
利息及び配当金の受取額	625,544	791,727
利息の支払額	△17,020	△8,860
法人税等の支払額	△1,719,761	△89,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	△949,019	967,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△19,640
有価証券の売却による収入	—	30,262
有形固定資産の取得による支出	△145,528	△119,465
無形固定資産の取得による支出	△3,363	—
投資有価証券の取得による支出	△1,679	△1,692
投資有価証券の売却による収入	—	26
貸付けによる支出	—	△1,090,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,571	△1,200,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,150,000	380,000
配当金の支払額	△68,213	△70,748
自己株式の取得による支出	△115	△94
その他	△3,146	439
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,078,524	309,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,116	3,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,183	79,895
現金及び現金同等物の期首残高	699,001	546,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	661,818	626,340

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

米菓事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。